

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月4日

上場会社名 株式会社ナガホリ 上場取引所 東
 コード番号 8139 URL http://www.nagahori.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長堀 慶太
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田端 馨 TEL 03-3832-8266
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,889	△2.2	△149	—	△153	—	△68	—
29年3月期第1四半期	4,997	△3.4	△155	—	△154	—	△190	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △51百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △234百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△4.47	—
29年3月期第1四半期	△12.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	25,489	12,884	50.6	840.20
29年3月期	25,365	13,044	51.4	850.56

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 12,884百万円 29年3月期 13,044百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,800	△5.1	△70	—	△95	—	△45	—	△2.93
通期	20,000	△7.1	180	24.0	120	27.2	100	—	6.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	16,773,376株	29年3月期	16,773,376株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	1,437,733株	29年3月期	1,437,733株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	15,335,643株	29年3月期1Q	15,335,643株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、円安による輸出増加や株高、企業業績の改善もあり、景気は緩やかに回復し、雇用環境の改善も続いております。しかし、米国のトランプ政権の政権運営や安倍政権の支持率低下、中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化による経済・貿易の不安定要素等から、景気の先行きは、いまだに不透明感を拭えておりません。

ジュエリー業界におきましても個人消費は、景気の先行き不透明感の中、依然消費者の節約志向の流れは変わらず、業界を取り巻く環境は厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下で、当社グループは平成27年4月よりスタートさせた中期経営計画「New Stage 58」の目標達成に向け、事業規模・収益拡大が見込める百貨店向け事業での富裕層向け商品企画等、また顧客満足度の高い自社商品、ブランド商品の開発と提案等積極的な営業活動、さらに新たな百貨店チャネルへの出店活動ほか経営資源の重点投資を進めております。また不採算事業等につきましても引き続き整理縮小を図り、「選択と集中」を進めてまいりました。

しかし業界を取り巻く環境は依然厳しく、当第1四半期連結累計期間の売上高は、48億89百万円（前年同期比2.2%減）、営業損失1億49百万円（前年同期、営業損失1億55百万円）、経常損失1億53百万円（前年同期、経常損失1億54百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失68百万円（前年同期、親会社株主に帰属する四半期純損失1億90百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間の結果を踏まえ、引き続き百貨店向け事業、重点ブランド商品企画開発等の積極的営業活動を各事業分野において展開し、またその一方で不採算事業等につきましては、引き続き順次見直しを行いさらに整理縮小を進めてまいります。

なお、セグメント業績は以下のとおりであります。

宝飾事業の売上高は48億56百万円(前年同期比1.4%減)、セグメント損失は1億63百万円(前年同期セグメント損失1億61百万円)、貸ビル事業の売上高(外部顧客)は16百万円(前年同期比49.3%増)、セグメント利益は4百万円(前年同期比28.4%減)、太陽光発電事業の売上高は16百万円(前年同期比8.3%増)、セグメント利益は9百万円(同7.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、254億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億23百万円の増加となりました。

流動資産は174億5百万円となり、前連結会計年度に比べ2億79百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加57百万円、商品及び製品の増加1億49百万円、原材料及び貯蔵品の増加20百万円によります。

固定資産は80億83百万円となり、前連結会計年度に比べ1億55百万円の減少となりました。これは主に有形固定資産の減少1億42百万円によります。

(負債)

負債は126億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億82百万円の増加となりました。

流動負債は105億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億98百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加90百万円、短期借入金の増加3億5百万円、賞与引当金の減少51百万円によります。

固定負債は20億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円の減少となりました。これは主に長期借入金の減少28百万円によります。

(純資産)

純資産は128億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億59百万円の減少となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失68百万円の発生、剰余金の配当1億7百万円によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間・通期の業績予想(平成29年5月19日)について、引き続き、経営資源の集中策を進めていく事で、現時点での修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,161,347	1,218,607
受取手形及び売掛金	2,475,934	2,385,730
商品及び製品	12,162,932	12,312,239
仕掛品	245,561	263,875
原材料及び貯蔵品	919,662	940,078
繰延税金資産	48,011	51,370
その他	128,316	249,172
貸倒引当金	△15,456	△15,230
流動資産合計	17,126,309	17,405,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,982,726	1,966,559
機械装置及び運搬具(純額)	267,989	260,291
土地	3,461,417	3,351,637
建設仮勘定	15,789	7,425
その他(純額)	432,661	431,987
有形固定資産合計	6,160,584	6,017,901
無形固定資産	144,708	145,752
投資その他の資産		
投資有価証券	869,180	832,844
長期貸付金	34,765	34,200
繰延税金資産	339	352
その他	1,159,250	1,181,231
貸倒引当金	△129,644	△128,779
投資その他の資産合計	1,933,892	1,919,850
固定資産合計	8,239,185	8,083,504
資産合計	25,365,495	25,489,349

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,333,150	1,424,028
短期借入金	8,013,000	8,318,000
1年内返済予定の長期借入金	177,068	157,160
未払法人税等	137,664	49,141
賞与引当金	109,955	58,020
役員賞与引当金	2,800	697
その他	485,153	550,308
流動負債合計	10,258,791	10,557,355
固定負債		
長期借入金	940,400	911,524
退職給付に係る負債	561,322	571,543
役員退職慰労引当金	149,135	150,951
繰延税金負債	45,159	52,551
再評価に係る繰延税金負債	48,841	48,841
その他	317,814	311,598
固定負債合計	2,062,672	2,047,009
負債合計	12,321,464	12,604,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,323,965	5,323,965
資本剰余金	6,275,173	6,275,173
利益剰余金	2,669,468	2,493,600
自己株式	△481,405	△481,405
株主資本合計	13,787,201	13,611,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95,153	111,903
土地再評価差額金	△853,614	△853,614
為替換算調整勘定	15,289	15,360
その他の包括利益累計額合計	△743,170	△726,350
純資産合計	13,044,030	12,884,983
負債純資産合計	25,365,495	25,489,349

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,997,616	4,889,794
売上原価	3,551,934	3,491,817
売上総利益	1,445,682	1,397,977
販売費及び一般管理費	1,600,837	1,547,266
営業損失(△)	△155,154	△149,289
営業外収益		
受取利息	131	19
受取配当金	13,007	13,587
為替差益	—	2,021
その他	14,448	6,878
営業外収益合計	27,587	22,506
営業外費用		
支払利息	21,881	21,637
手形売却損	2,469	2,335
為替差損	1,680	—
その他	1,108	2,702
営業外費用合計	27,140	26,675
経常損失(△)	△154,707	△153,458
特別利益		
固定資産処分益	4,629	113,164
投資有価証券売却益	—	282
特別利益合計	4,629	113,446
特別損失		
固定資産処分損	333	485
特別退職金	4,450	—
特別損失合計	4,784	485
税金等調整前四半期純損失(△)	△154,862	△40,497
法人税、住民税及び事業税	29,574	31,391
法人税等調整額	5,870	△3,371
法人税等合計	35,444	28,020
四半期純損失(△)	△190,307	△68,517
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△190,307	△68,517

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△190,307	△68,517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,516	16,749
為替換算調整勘定	△1,996	70
その他の包括利益合計	△44,512	16,820
四半期包括利益	△234,819	△51,697
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△234,819	△51,697
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	宝飾事業	貸ビル 事業	健康産業 事業	太陽光発電 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,926,129	11,265	45,032	15,188	4,997,616	—	4,997,616
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1,110	—	—	1,110	△1,110	—
計	4,926,129	12,376	45,032	15,188	4,998,727	△1,110	4,997,616
セグメント利益又は 損失(△)	△161,416	6,483	△9,341	9,119	△155,154	—	△155,154

(注) 1. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 健康産業事業につきましては、「選択と集中」の事業方針に従った見直しを行い、第1四半期連結会計期間の平成28年6月をもって直営形態の当該事業を終了廃止しております。

なお、当該施設につきましては第2四半期連結会計期間の平成28年7月より、賃貸による貸ビル事業へ転換しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	宝飾事業	貸ビル 事業	太陽光発電 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,856,523	16,821	16,449	4,889,794	—	4,889,794
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1,740	—	1,740	△1,740	—
計	4,856,523	18,561	16,449	4,891,534	△1,740	4,889,794
セグメント利益又は 損失(△)	△163,741	4,642	9,808	△149,289	—	△149,289

(注) 1. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。